

京都市立京極幼稚園 教育目標の全体構想

文部科学省 幼稚園教育要領

健康：健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。

人間関係：他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とのかかわる力を養う。

環境：周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。

言葉：経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。

表現：感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

京都市教育委員会

学校教育の基本指針

～確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和のとれた育成～

京極幼稚園教育目標

心豊かにたくましく生きる
子どもの育成

目指す子ども像

- ・ のびのびと遊ぶ子ども
- ・ 仲よく遊ぶ子ども
- ・ 一生懸命がんばる子ども

幼稚園・地域の実態

- ・ 京都市のほぼ中心部に位置し、世界遺産の下鴨神社や商店街が区内にあり、観光客の多い地域である。
- ・ 幼稚園は閑静な住宅街の中にあり、相国寺、京都御苑、鴨川など地域の資源に恵まれている。
- ・ 園児数34名、学級数2、2年保育の幼稚園である。
- ・ 同じ地域の鶴山保育所、京極小学校、室町小学校などと連携を図っている。

幼児の実態

- ・ 素直で人懐っこく、何事もやってみようとする興味や意欲をもっている。
- ・ 少人数の学級で早くから安定感をもつが、友達関係が広がりにくい。

本園の経営方針

- ・ 遊びや生活を通して、自己肯定感をもち、環境に主体的にかかわろうとする意欲や態度を培う。
- ・ 地域の小中学校、保育所と交流し、人的環境を豊かにし、子どもの育ちをつなぐ連携を進める。
- ・ 職員同士が連携をとり、安全管理に細心の注意を払う。
- ・ 研修や保育実践に積極的に取り組み、教師としての専門性を高める。
- ・ 保護者や未就園児の保護者の教育力を高める、子育て支援の取組を進める。
- ・ 幼児期の子どもの育ちに視点を当てた、具体的な姿を地域や保護者に発信する。
- ・ 個々の発達課題を把握し、その子に応じた指導を考え、総合育成支援教育の充実を図る。

重点課題と課題達成に向けての具体的取組

- 主体性や社会性を育てる遊びや生活を目指して
 - ・ 遊びのねらいを明確にし、子どもが友達と心を動かす体験を重視した保育の展開に努める。
 - ・ 様々な友達とのかかわりを広げたり深めたりして、信頼感や規範意識などを育てる。
 - ・ 保護者評価や学校関係者評価を実施し、教育活動の改善に努める。
- 特色ある園づくりを目指して
 - ・ 就学前教育の充実を図るために、京極・室町小学校、鶴山保育所の交流において、保幼小の教職員が継続的にかかわり、子ども同士が学びあえる場や機会となる実践方法を工夫する。
 - ・ 同一地域の就学前施設である鶴山保育所との交流保育を中心に合同研修を進め、子どもの育ちを確かめると共に、保育所の“養護”の視点を学び保育に取り入れる。
 - ・ 一人ひとりの育ちが見える保育を実践し、家庭と子どもの姿を共有する連携を行う。